※　応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和５年１１月発行　　広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.70)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181

広尾っ子応援団本部会議を開催しました

１０月１７日に広尾っ子応援団本部会議が行われました。本部長（田中副町長）の開会の挨拶に続き、報告事項及び協議事項について話し合いました。

報告では、今年度の放課後読書等ふれあい広場の利用者数が大きく増えている状況や情報活動等についての説明がありました。

また、協議では、各校の学校運営協議会で決定された取組について、応援団本部としての対応等を検討しました。委員の皆さんから町の産業や自然を活かした体験活動を積極的に進めてほしいという意見がありました。

全体として、コロナ禍を終えたことから、地域と学校の協働活動を積極的に行っていくことが確認されました。

重点教育目標を目指して～広尾小の授業より

今回は、広尾小学校で行われた授業の様子を紹介します。広尾小学校の重点教育目標は「強い心をもち、自ら学ぶ子どもを育てる」で、授業では「対話」を大事にして学びを深めることを目指しています。

【授業日：１０月１８日（水）・教科：道徳科・学年：３年１組】

主題名「ともたちのカタチ」（友情、信頼）の学習で、子どもたちは「友達をつくるときに考えることは？」を課題として、動画教材を視聴して話し合いました。

「相手とよく話す」、「一緒に遊ぶ」、「助け合う」、「優しくする」等の意見をもとに、友達のよさを発見したり理解したりすることの大切さを学びました。グループでの対話も取り入れられ、活発な授業が展開されていました。

広尾っ子へ応援メッセージが届きました

中学校の文化祭、初めて拝見いたしました。学級ごとの発表では、１年生の躍動感あふれるよさこい、２年生の息の合ったストンプ、３年生の手作り感満載の演劇に拍手が止まりませんでした。他の学年にも、拍手をしたり声援を送ったりする中学生はやはり優しいと感じました。広尾っ子は、異学年に優しいと聞いたことがありますが、まさに、その通りと言わざるを得ない文化祭でした。コロナ禍が明け、初めて一町民として文化祭を拝見しましたが、とても素晴らしい発表を見せていただき感謝しております。生徒の皆さん、生徒会の皆さん、中学校の先生方お疲れ様でした。　（町内　４０代　男性　１０月１０日受取）

豊似小の放課後活動より

１０月２７日に行われた豊似小学校の放課後活動の様子を紹介します。パオバブの皆さんの支援により、参加した子どもたちはハロウィーンにあわせ段ボールで思い思いの工作に挑戦しました。また、アウトドアクッキングをして、パオバブの皆さんが作ってくれた焼きマシュマロを美味しくいただきました。少し肌寒い天気でしたが、子どもたちはジャンボかぼちゃの周りを走り回ったりして、とても温かい雰囲気のひと時でした。

地域の支援・協力による学習活動紹介

１１月６日に広尾小学校の５年生が「秋鮭」についての学習をしました。授業は広尾漁協の皆さんが講師となり、秋鮭の漁の様子やサケマスふ化場の様子を学びました。さらには、漁業で使うロープの結び方も体験しました。子どもたちは「仕事で大変なことは」、「広尾でよく獲れる魚は」などの質問をして、地元の漁業への理解を深めました。このように地域の方々から学ぶことを通して、地域への愛着も強くなることでしょう。